

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
異文化コミュニケーションI Intercultural Communication I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	必修	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
加藤 遼子	講義棟3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
世界中に住む人々(特に英語圏)の文化、生活、社会的背景を学ぶことは、国際社会の一員として生きていく私たちにとって必要なことである。また、そのことに対し自分の意見を持ち、他者に伝え、意見を聞くことで国際人としての意識を持つことができる。				
授業の目標				
①様々な文化や社会事情に対し、ある程度の知識を持つことができるようにする。 ②異文化に関し自らの意見を持ち、それを他人に伝えることができるようにする。 ③広い視野を持ち、様々な観点から世界を見ることができるようにする。				
授業の方法				
講義と演習の形式を併用して行う。テキスト中心に進めていき、各トピックに関し、自らの意見をまとめ、クラス内で共有する。グループ形式でトピックに関しディスカッションも行う。				
学習の成果(学習成果)				
①世界の文化や社会的事情に対し、深い理解をもつことができる。 ②そのことに対し自らの意見を持つことができる。 ③他者の意見を聞き、疑問に思い、質問をしあうことで相互理解を深めることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明、評価方法説明			
第2回目	Unit1 Meijer—Higher Standards, Lower Prices			
第3回目	Unit2 This Calls for a Bud Light			
第4回目	Unit3 Anti-Discrimination Campaign			
第5回目	Unit4 McDonald's—King of Fast - Food Restaurants			
第6回目	Unit5 Relax, it's FedEx.			

第7回目	Unit6 BMW—A Car beyond Reason	
第8回目	Unit7 Banking for the Filthy Rich	
第9回目	Unit8 Learning Languages	
第10回目	Unit9 Pepsi—Ask for More	
第11回目	Unit10 United Nations Development Programme	
第12回目	Unit11 Disney—Magic Happens	
第13回目	Unit12 Coca Cora - For Everyone	
第14回目	Unit13 Anti-Smoking Campaign	
第15回目	Unit14 Courterfeit Mini Coopers / レポート提出日	
事前・事後学習	テキストの意味の分からない語を事前に調べてくる。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	自らの意見を積極的に意見を述べている。ディスカッションで積極的に質問をしている。
レポート	30%	課題を理解し、課題の要件を十分に満たしている。
調査報告書		
小テスト	20%	課題をよく理解し、正確に答えている。
試験		
発表内容（態度含む）	10%	創意に溢れ、自分の考えを明瞭に述べている。
その他		
教科書と参考図書		
青木雅幸著 『English in 30 Seconds』（南雲堂）		
履修上の留意点・ルール		
毎授業、英語の辞書を持参すること。授業開始後30分以上たってからの入室は欠席扱いとする。		